

THE NEXT

～ 未来を創る人たち～

聞き手

池崎 大輔

さん

・ ウィルチェアーラグビー日本代表

ゲスト

山崎 直子 さん

・ 宇宙飛行士

1/2



ウィルチェアーラグビーの日本代表選手である池崎大輔がゲストを迎えてさまざまなことを語り合う本企画。今回は、宇宙飛行士の山崎直子さんを招いた。

池崎 山崎さんは宇宙飛行士になることが子どもの頃からの夢だったそうですが、本当に夢を実現するまでには相当のご苦労があったのです？

山崎 そうですね。最初に宇宙飛行士の試験に挑戦した時は、書類審査の段階で弾かれて試験にすら進めなかつたんです。当時はちょうど米国留学中で、たまたま宇宙に携わっている女性たちの集まりがあつたんですね。隣に座つてくださつた70代のおばあちゃんが、「私、ヘリコプターのパイロットなのよ。操縦が楽しいの」とおっしゃつた。いくつになつても頑張つている人がいるんだ、とその強烈な出会いが私を奮い立たせてくれました。

池崎 刺激になりますね。

山崎 ただやつと試験に受かつて宇宙飛行士になつても、すぐには宇宙に行けなかつたんです。トレーニングを始めてから宇宙に行くまでに11年かかりました。いつ飛べるかが決まるまでは自隠しをしながらマラソンをしているような感覚。ゴールがどこにあるのかわからない。正直、悩んだ時期はありました。

池崎 僕は4年に一度のパラリンピックというチャンスがあるからこそ、厳しいトレーニングも頑張れる。でも、いつ飛べるかわからずに訓練するのは、精神的にもつらいですよね。

山崎ええ。でも、訓練 자체は苦ではなく楽しかつた。だから、宇宙に行けなかつたらエンジニアの道に活かそと、どこかで腹をくくつてからは瞬間瞬間を楽し

「迷つても、時間がかかるても、諦めない」



山崎 直子
やまとき なおこ

1970年、千葉県生まれ。96年より宇宙開発事業団(現JAXA)に勤務。99年にISSに搭乗する宇宙飛行士候補に選定され、2010年、スペースシャトル・ディスクアリーワ号に搭乗。11年にJAXAを退職後は宇宙政策委員会委員や大学客員教授などを務める。



池崎 大輔
いけざき だいすけ

1978年、北海道函館市生まれ。車いすバスケットボールから2008年、車いすラグビー(ウィルチェアーラグビー)に転向。10年4月、ウィルチェアーラグビー日本代表に選出。16年にリオパラリンピックに出場。現在、三菱商事所属。

もうという気持ちで取り組んでいました。
池崎 すごいなあ。僕は、練習は嫌いなんですが(笑)それ以上に負けたくない、といふ気持ちが原動力です。ところで、宇宙へ行くのはどのくらい前に決まるんですか？

山崎 打ち上げの約1年半前にチームが結成されます。そこに入れるかどうかが第一歩です。

どうやつて知らせが来るんですか？

池崎 何の予告もなく突然来ます。私が連絡を受けたのは、訓練のために日本に帰国する飛行機の中。成田空港に着いてNASA(アメリカ航空宇宙局)の室長から着信があつたのでドキドキしました。結局、メールで先に連絡をいたしましたが(笑)。

池崎 そんなに突然なんですね！でも、山崎さんのお話を伺つていると、夢を諦めないことが大事だなど改めて感じます。僕も大きな夢に向かつて頑張ろうと、刺激になりました。

THE NEXT

～未来を創る人たち～

ウィルチェアーラグビーの日本代表選手である池崎大輔がゲストを迎えてさまざまなことを語り合う企画。前回に続き、宇宙飛行士の山崎直子さんに話を聞いた。

山崎 直子
やまとざき なおこ

©NASA

池崎 大輔
いけざき だいすけ

1970年、千葉県生まれ。96年より宇宙開発事業団(現JAXA)に勤務。99年にISSに搭乗する宇宙飛行士候補に選定され、2010年、スペースシャトル・ディスカバリー号に搭乗。11年にJAXAを退職後は宇宙政策委員会委員や大学客員教授などを務める。

1978年、北海道函館市生まれ。車いすバスケットボールから2008年、車いすラグビー(ウィルチェアーラグビー)に転向。10年4月、ウィルチェアーラグビー日本代表に選出。16年にリオパラリンピックに出場。現在、三菱商事所属。

「宇宙でスポーツ大会を開けたらいいですね」

池崎 僕も宇宙に興味があるんですが、宇宙に行くための実際の訓練とはどんなものなのでしょうか。

山崎 例えば、ロッキー山脈でのチームビルディング訓練。私の時は10人のチームで10日間でした。共同生活を送るための訓練は結構あります。お互いの性格を知り、チームワークを磨く。野外で訓練する時は1日毎にリーダーを交替し、全員がリーダーを経験する。リーダーもフォローワーも両方できるようにしなさいというミッションですね。

池崎 スポーツでもチームワークは必須ですが、宇宙飛行士のチームワークで大切なことは?

山崎 1人で抱えこまないことです。自分から助けを求めることが大切だと。一緒に宇宙へ行った船長は海軍出身の屈強な方でしたが、みんながつらい時は真っ先に「肩こったなあ」「筋肉痛だ」と言ひ出す。そう言われると私も弱音を吐きやすくなる。リーダーは時に弱みを見せてることでチームを引っ張れるんだと学びました。

池崎 1人ではできないことをみんなで補い合いながら一つにしていくのがチームですもんね。

山崎 そう。それでもう一つ大切なのは共有すること。ある時、課題が早く終わって喜んでいたら

評価は低かったんです。理由はコミュニケーション不足。自分が今どんな作業をしているか説明しないと仲間が不安になると言わされました。私としてはわざわざ口に出すことはないと思っていましたが、言わないと伝わらないと。

池崎 それは日本人の性格もありそうですね。

山崎 ええ。黙っている=賛成ではなくて、意見を持たないに等しいと思われてしまう。いくら優れた技能を持ち、良いプレーをしても、それだけでは伝わらない。異文化ならなおさらコミュニケーションを取る必要があると痛感しました。

池崎 なるほど。僕もアメリカでプレーをする中で意思疎通の難しさと大切さを感じているので勉強になります。僕も宇宙に行つてみたいなあ。

山崎 そうです! その代わり着替えるだけでも無重力だから車いすもいらないですね?

最初は大変ですよ(笑)。当たり前だと思っていたことがそうではないと気づかせてくれるのも宇宙旅行の醍醐味です。私の夢はだれもが宇宙に行ける時代になること。そして、宇宙でスポーツの世界大会ができるらしいですね。

池崎 それはすごい! 僕も大賛成です。宇宙で

聞き手

池崎 大輔
さん

ウィルチェアーラグビー日本代表

ゲスト

山崎 直子
さん

宇宙飛行士

2/2

